

国内4カ所に用地取得

トラスコ中山物流拠点など新設

トラスコ中山は奈良、愛知県、香川県、北海道の国内4カ所に万3000平方メートル規模の用地を敷地面積約3万3000平方メートルで、大寸法の商品や物流や販売のための用途で、大寸法の商品やコ

ンテナ入りの輸入商品などを保管する倉庫を建てる。愛知県では物流拠点を新設する。土

地取得総額は約60億円。香川県の営業所を除き、2020年代前半の稼働を視野に入れる。奈良県大和郡山市に

「西日本物流センター」、愛知県北名古屋市に「プラネット愛知」をそれぞれ新設し、札幌と高松市の用地には現在の「プラネット北海道」、「高松支店」の両方を移転、拡張する。

大和郡山市の土地取得に約30億円を投じた。現状では大寸法商品やコンテナなどの倉庫機能を九州の拠点で一部担っている。

北名古屋市では約20億円を投資した。商品の入出荷の効率を高めつつ、同地域での物流体制を強化する。

トラスコ中山は在庫量や物流機能を強みの一つに急成長してきた。10月には約200億円を投じ、埼玉県に同社最大規模の物流拠点を開業する。一方、4月から効率化計画に取り組んでおり、人員配置や物流の外部委託を見直す。